

技術名(A~Hは推進戦略での名称記号)	作業内容	技術熟度	使用する建設機械	適用工種				実施方法		要領(案)	監督検査	各種調査の実施			備考
				河川土工	道路土工	路盤工(As舗装工)	その他	発注者指定	施工者提案			アンケート調査(発注者)	アンケート調査(受注者)	詳細調査	
A;マシンガイドランス B;マシンコントロール技術	捲き出し敷き均し掘削・成形	実用化技術※1	ブルドーザ グレーダ その他※4	△	△	△	-	○	○	-	対象外	-	○	○	工事規模(一般土木C・D等級、舗装B・C等級)等を考慮
C;TSによる出来形管理技術(河川、道路土工)	出来形計測	実用化技術	(TS)	△	△	-	-	○	○	②	新監督・検査要領(案)による	-	○	○	工事規模(一般土木C・D等級)等を考慮
D;TS・GPSによる締固め管理技術	締固め	実用化技術	ローラ	○	○	-	-	○	○	①	要領(案)による	○	○	○	
C.G;TS(RTK-GNSS)による出来形管理技術	出来形計測	確認段階技術※2	(TS) (RTK-GNSS)	○	○	○	○	○	○	③~⑤	新たな要領(案)による	○	○	○	
E;盛土の捲き出し厚さ管理技術	出来形計測・締固め	検証段階技術※3	ブルドーザ	○	○	-	-	○	○	未整備	従来方法との比較	○	○	○	
F;加速度応答による締固め管理技術	締固め		振動ローラ	○	○	○	-	○	○			○	○	○	
H;非接触温度センサーによるアスファルト舗設温度管理技術	舗設温度管理		ローラ	-	-	○	-	○	○			○	○	○	
設計~施工における一連の3Dデータの利活用	3Dデータの利活用		-	○	○	○	○	○	-			-	-	○	○
その他(ICタグ等)															

①~⑤要領(案)

- ①TS・GPSを用いた盛土の締固め情報化施工管理要領(案)
- ②施工管理データを搭載したトータルステーションによる出来形管理要領(案)
- ③施工管理データを搭載したトータルステーションによる出来形管理要領(案)【舗装工事編】関東地整版
- ④施工管理データを搭載したトータルステーションによる出来形管理要領(案)【地下埋設物編】国総研版
- ⑤施工管理データを搭載したRTK-GNSSによる出来形管理要領(案)国総研版

技術熟度

※1:実用化技術

実用化段階にあり効果の検証・要領等の最終調整を行うために試験施工を行う技術

※2:確認段階技術

作成済の要領・基準等の妥当性検証のために試験施工を行う技術

※3:検証段階技術

技術の実用性検証や要領・基準類検討のために試験施工を行う技術

※4 その他の建機

バックホウ、アスファルトフィニッシャ、コンクリート舗装用機械、2D-MG等については試験施工を継続